

第1回校名検討委員会 会議結果

日時：平成21年3月3日（火）19:00～21:45

場所：多摩市役所第二庁舎会議室

出席委員：16名

1 校名検討委員会について

(1) 自治会の委員について

校名検討委員会の委員のうち、一部でも4小学校の通学区域内にある自治会には校名検討委員会への委員の参加依頼を行っている。

会議の中で、4小学校の通学区域に一番近く隣接し、名称も「豊ヶ丘」としている「豊ヶ丘1丁目自治会」も校名検討委員会の委員にすべきとの意見があり、座長のまとめとして「豊ヶ丘1丁目自治会」の参加について事務局で検討することとした。

(2) 管理組合について

校名検討委員会は、4小学校の校長から一人、保護者、自治会、コミュニティセンター、青少協、民生・児童委員をメンバーとしている。しかし、管理組合については、基本的に財産管理が主な団体と考えたため、検討委員会の委員としていない。しかし、管理組合には多くの世帯が加入しており、子どももそこから通っていること等、管理組合も校名検討の委員とすべきとの意見があった。

この件の座長のまとめについては、管理組合の住宅に住む児童の世帯の声は他の委員から伝えることと考え、4小学校の通学区域内にある管理組合に対しては、校名検討の状況について情報提供を行うこととした。

(3) 学校長の参加について

校名検討委員会に4小学校の校長は一人のみの出席で、全員が出席していないことについて、意見が出された。

この意見に対して教育委員会からは、4小学校の校長は、校名検討委員会の上部組織である統合準備委員会に属しており、校名検討委員会の座長は4小学校の校長の代表として出席していることの説明があった。

なお、校名検討委員会において校長は、座長として会議の交通整理役を担うこととし、委員の協力により校名案の選考をしていくこととした。

2 校名選定の流れについて

校名検討委員会の進め方は、応募のあった校名案を基に委員の意見により決めていくこととした。そのため、第2回校名検討委員会において、校名案の選考のほか、今後の進め方も含め検討することとした。

3 統合新校の校名案募集の仕方について

校名案の公募については様々意見があったが、公募を行うことで校名検討委員会に参加していない市民の気持ちを汲み上げる手段にもなり得ることが考えられるため、原案のとおり進めることとした。

なお、校名案の応募に際して地域の歴史を考慮できるかの点について、選考に際しては地域性を考慮して検討する。

4 地域の歴史について

吉祥院住職 津守氏により「乞田・貝取・豊ヶ丘の歴史」について、「貝取の名は、昔、東京湾の潮が満ちてきて乞田川まで遡り、貝が取れたことで名づけられたと考えられる。」「かねてから多摩には「関戸」「連光寺」「乞田」「貝取」「落合」「和田」「寺方」「一ノ宮」の八ヶ村と「落川」「百草」などの飛び地があった。」「豊ヶ丘は、以前は『豊ヶ岡』と表記されていた。」などとする講話をいただいた。この後、複数の委員から地域の歴史の重要性を認識する発言があった。

5 次回

日時：平成 21 年 4 月 7 日（火） 19:00～

場所：多摩市役所第二庁舎会議室